

## 目標達成計画

作成日: 平成 28年 8月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36 (14)	普段の生活やケアを実施する中で言葉使いが徐々に崩れてしまっている現状がある。	全スタッフが一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない対応を目指す。	グループホーム内のユニットの会議や月1回開催しているスタッフ主催の勉強会で接遇研修を取り入れ人権や虐待についての知識・意識向上を図る。	10ヶ月
2	4 (3)	二か月に一回運営推進会議を実施しているが、参加者に地域の民生委員や自治会長が入っておらず、決まった参加者のみで開催している。	自治会長や民生委員にも参加してもらい、地域との繋がりを増やしていきたい。	現在会議に参加してしている地域包括の方に相談し、自治会長や民生委員の方にも参加してもらう。その中でグループホームの運営に対して公正中立な意見を求めたい。	6ヶ月
3	6 (5)	グループホームの玄関の施錠を常時実施しているが、施錠自体も身体拘束となることを踏まえる必要がある。	ユニット会議や上司と相談し日中の一定時間からでも解錠出来ないかを検討・実施したい。	ユニット会議等で玄関の施錠も身体拘束に該当するということを意識するとともに、日中のスタッフの見守りが多い時間に解錠出来ないかを試してみる。一日15分程度から始め徐々に時間を延ばしてみる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。